

まちづくり交付金 事後評価シート(原案)
津島市中心市街地地区

平成21年10月

愛知県津島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	津島市		地区名	津島市中心市街地地区			面積	214ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	1,265百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路((都)橋詰見越線、(都)昭南本町線、公園東線)、高質空間形成施設(天王川公園再生整備(藤棚整備)、本町筋整備事業、南文化センター有効活用事業)、既存建造物活用事業(観光交流センター整備事業(旧津島信金))										
		提案事業	地域創造支援事業(商店街空き店舗対策事業、排水路整備事業)、事業活用調査(観光交流センター利活用事業)、まちづくり活動推進事業(まちづくりワークショップ等、津島まちあそび)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	地域創造支援事業(市民活動支援センター整備事業、沿道整備街路事業)		・入居を予定していた団体が近隣施設にて活動することになったため削除する。 ・移転補償について合意が得られず、事業期間内に完了が見込めないため削除する。			・近隣にて効果を発揮しているため指標への影響は微小。 ・趣のある家は現存しているため指標への影響は微小。					
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(天王川公園中央広場整備事業・天王川公園西提整備事業・天王川緑地整備事業)		・天王川公園の藤棚整備など多数の事業を進めており、来訪者が多く訪れることが想定されるため、トイレ整備を追加する。 ・津島のシンボルである天王川公園の魅力高めるため、自然景観に配慮した道路整備、樹木設置を追加する。			・天王川公園の魅力向上をサポートする事業の追加のため、指標への影響は微小。					
提案事業		地域創造支援事業(駅東地区環境整備事業)、事業活用調査(事業効果分析調査)		・安心・安全に暮らせるまちづくり推進のため、水路に床版を設置することで、歩行空間を形成し、事故防止を図るため追加する。 ・最終年度に各指標の事業効果分析調査を行うため追加する。			・事故防止を図る事業追加のため指標への影響は微小。						
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			(総合所見)	予定時期
	指標1	市民活動団体数	団体	3	H15	5	H21	-	5	○	あり なし	天王川公園の藤棚整備、本町筋の景観道路整備・観光交流センター整備、拠点施設へのアクセス道路整備、ワークショップ等により、住民の気運が高まった。	平成22年5月
	指標2	観光入込客数	人/日	17,750	H16	19,500	H21	-	15,166	△	あり なし	数値目標の達成には至らなかったが、天王川公園の魅力や交通アクセス性が向上し、近年の観光入込客数下落トレンドから回復することが出来た。	平成22年6月
指標3	本町筋の歩行者・自転車数	人・台/6h	453	H16	540	H21	-	1,631	○	あり なし	本町筋の景観道路整備・観光交流センター整備や拠点施設へのアクセス道路整備により、民間のまち歩きイベントを誘発したことや、市民団体による「津島まちあそび」の開催で歴史的町並み景観をPR出来た。	平成22年10月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み			(総合所見)	予定時期
その他の数値指標1	観光バス入込客数	台	30	H18	/	/	-	161	/	/	/	天王川公園の藤棚や中央広場、周辺道路等が整備されたことで利用環境が整い、観光バス入込台数の増加につながった。	平成22年6月
4)定性的な効果発現状況	・市民団体の活動が活発化し、まち歩きなどのイベントが行われるようになり、賑わいを創出する機会が増えた。 ・津島駅および南文化センターにエレベーター等の歩行支援施設が整備されたことや、旧市街地に排水路整備がされたことで安心・安全に暮らせるまちづくりを推進することができた。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	該当なし。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	・本町筋まちづくり基本方針作成に関するワークショップの開催 ・本町筋の整備イメージ作成に関するワークショップの開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				・今後も、地域住民や市民団体と協働で、まちづくりを推進する。 ・本町筋の町並み保存、維持管理は、地区住民や市民団体主導で進め、市は後方支援していく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	・交付期間中及び事業完了後の住民等によるまちづくり活動 歴史・文化を活かしたまちづくりを推進するために、公共空間整備と地域住民によるイベント等のソフト施策の複合的な展開により、市民と行政の協働のまちづくりを引き続き展開していく。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				・官民協働で継続的な町並み景観づくりに取り組んでいく。				

様式2-2 地区の概要

津島市中心市街地地区(愛知県津島市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
◎歴史・文化を活かした活動・交流ができるまちづくり ・まちのにぎわいを創出するため、長い歴史の中で育まれた、豊富な歴史的・文化的遺産を保存・継承しながら、魅力的な観光資源として活用するとともに、津島の魅力の情報発信、市民と行政とのパートナーシップによるまちづくりを推進する。 目標1 歴史・文化を活かした活動・交流拠点の整備 目標2 活動・交流拠点施設へのアクセス利便性の向上 目標3 安心・安全に暮らせるまちづくり	市民活動団体数	単位: 団体	3 H15	5 H21	5 H21
	観光入込客数	単位: 人/日	17,750 H16	19,500 H21	15,166 H21
	本町筋の歩行者・自転車数	単位: 人・台/6h	453 H16	540 H21	1,631 H21
	観光バス入込客数	単位: 台	30 H18	—	161 H21

高質空間形成施設・既存建造物活用事業
 ・歴史的町並みや天王川公園の藤棚整備など、地域資源を活かした活動、交流拠点が整備された。

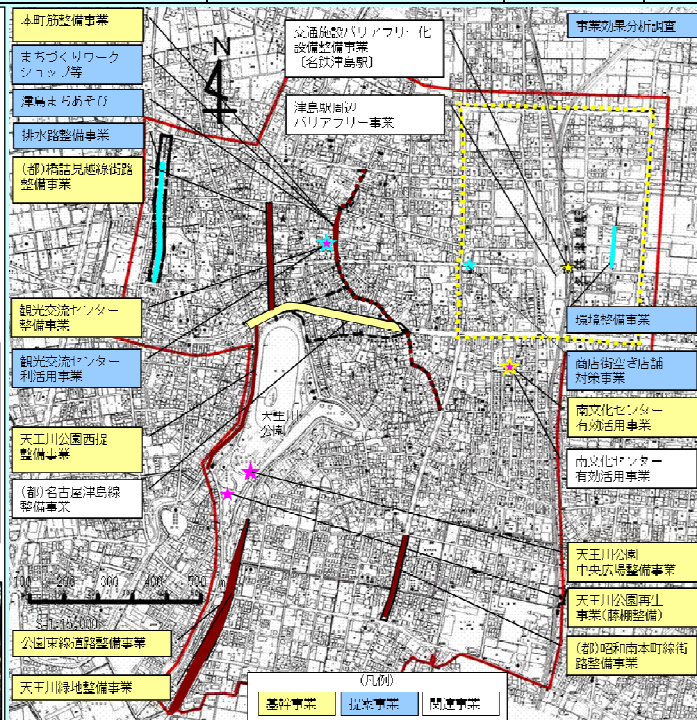
本町筋整備事業



観光交流センター整備事業

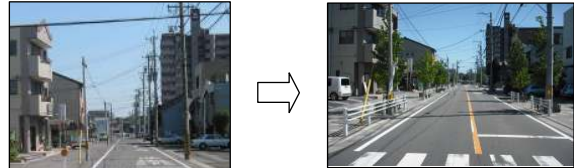


天王川公園(藤棚整備) 天王川公園(中央広場整備) 天王川公園(西提整備)





道路事業
 ・道路整備により、活動・交流拠点施設へのアクセス利便性が向上した。

橋線見越線




公園東線




まちづくり活動推進事業
 ・住民と行政が協働し、まちづくりの検討やイベントが実施された。

まちづくりワークショップ



津島まちあそび



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり交付金の活用をきっかけに、市民団体の活動が活発化した。また、藤まつりの際には、様々なイベント(津島まちあそび、名鉄ハイキング等)が市民団体や民間主催でおこなわれ、まちのにぎわいが創出された。今後は、祭り・イベントを観光客増加につなげていく必要がある。 ・本町筋保存に対する地域住民の気運が高まり、まちづくりに取り組むNPO団体が発足した。このNPO団体、地域住民等と協働で「本町筋まちづくり基本計画」を作成し、景観道路整備・観光交流センター整備を行ったことで町並み景観の向上が図られた。今後は、まとまりのあった古い町並みを再生していく必要がある。 ・幹線道路の整備が進み既成市街地への通過交通の流入が減少した。完成に至っていない路線については早期完成が必要。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民やまちづくり団体によるまちづくり活動を継続支援し、活動の活性化を図る。 ・地域住民やまちづくり団体と連携し、まとまりのある古い町並みを保存できる基盤を作る。 ・まちづくり活動と一体的な空き店舗や空き家の解消を促進する。 ・残事業である昭和南本町筋と名古屋津島線(事業主体: 愛知県)の整備を行う。特に名古屋津島線整備は通過交通排除の核となる重要な道路であるため、早期開通を目指す。